

知多市制施行50周年記念事業基本構想

平成31年3月

知 多 市

1 沿革

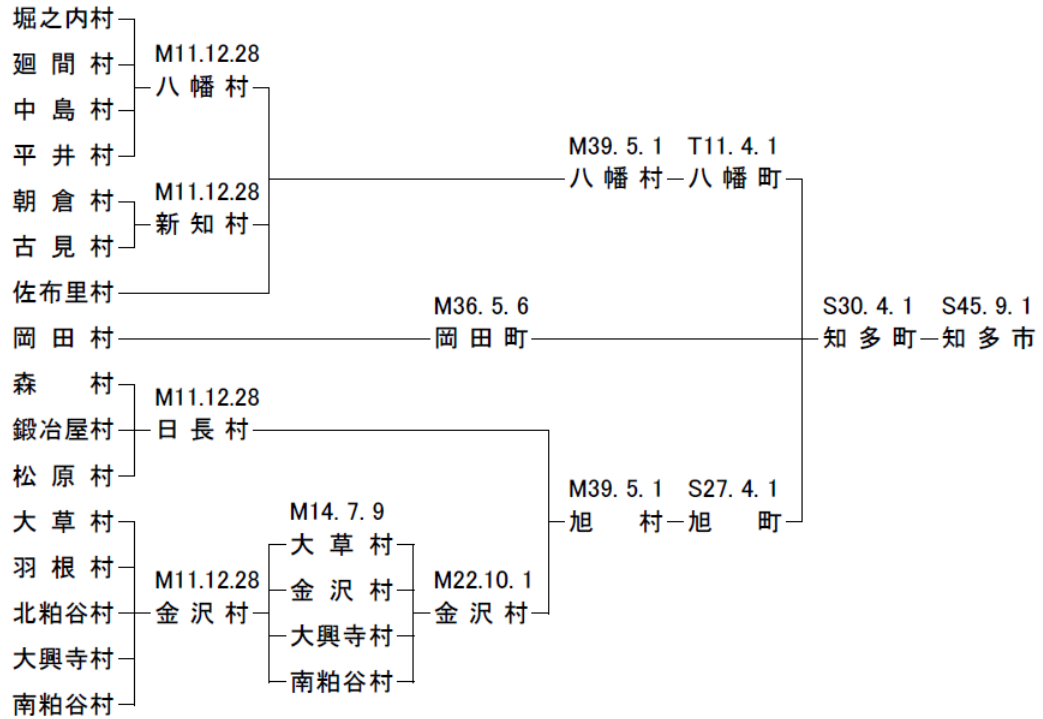
本市は、昭和45年9月1日に市制を施行し、名古屋市近郊都市として発展してきました。名古屋港南3区、南4区は、名古屋南部臨海工業地帯として、火力発電、石油精製、都市ガス供給等の企業が操業し、これら臨海部工業地帯と市街地の間に整備された緩衝緑地帯は、幅約100メートル、延長約6キロメートルのグリーンベルトとして、現在では豊かな自然を形成しています。

丘陵部では宅地開発も進み、市制施行時に39,834人（昭和45年10月1日 国勢調査）であった人口は、昭和49年4月に5万人、昭和60年4月に7万人、平成8年11月には8万人に達しました。

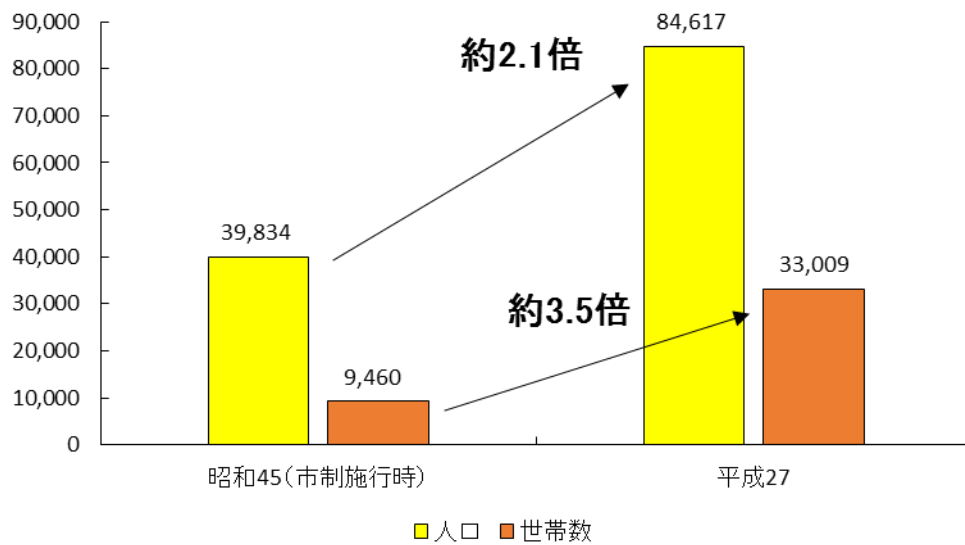
平成9年に南5区に新舞子マリパークがオープン、平成13年には佐布里緑と花のふれあい公園がオープンし、多くの市民が身近な自然を楽しんでいます。このように、本市は、市制施行以来、豊かな自然を大切にし、産業との調和を図りながら、緑園都市として発展を続けてきました。

また、コミュニティ活動や市民活動が盛んに行われており、市民のまちづくりへの関心が高いことから、周年を一緒に祝う機運も高く、これまでの周年記念事業では、多くの市民が参加し、盛り上げてきました。

【知多市合併図】



【人口・世帯数推移】



出典：国勢調査

【知多市の歩み】

年 月	主 な 出 来 事
昭和45年 9 月	市制施行 市の木に「やまもも」を選定
昭和46年 9 月	市の花に「つつじ」を選定
昭和49年 5 月	西知多産業道路朝倉インターチェンジ開通
昭和52年 3 月	知多運動公園陸上競技場完成
昭和52年 9 月	市民体育館開館
昭和55年 8 月	中央図書館開館
昭和57年10月	朝倉駅付近の鉄道高架化事業完成
昭和60年11月	勤労文化会館開館 「知多市民の誓い」制定
昭和63年 2 月	全小学校区にコミュニティ組織が設立
平成 3 年 8 月	第 1 回花火大会開催（新舞子海岸）
平成 4 年 2 月	第 1 回佐布里池梅まつり開催
平成 8 年12月	尾張万歳が国の重要無形民俗文化財に指定
平成 9 年 4 月	新舞子マリンパーク開所
平成13年 2 月	佐布里緑と花のふれあい公園開園
平成17年 9 月	愛・地球博フレンドシップ事業（カタール国）開催
平成19年 1 月	市民活動センター開所
平成20年 2 月	全国梅サミット開催
平成24年 1 月	中日ドラゴンズ浅尾拓也選手に第 1 号の市民栄誉賞を授与
平成27年 5 月	公立西知多総合病院開院
平成28年 5 月	シティプロモーションキャッチフレーズ「ちょうどいいまち知多」に決定
平成30年 1 月	朝倉駅周辺整備推進室を設置

2 基本理念

本市は、平成32年9月1日に市制施行50周年を迎えます。市の誕生から半世紀という大きな節目を迎えるに当たり、これまでの本市の歴史と歩みを振り返り、これまでの発展を支えてきた先人たちの功績を称えるとともに、次の半世紀を見据え、夢や希望を未来へつなげていかなければなりません。

そこで、本市の記念すべき50周年を市民、地域、事業者、市等、まちづくりに関わる様々な主体が連携し、市全体で祝うことで、我がまちへの愛着と誇りを醸成します。

本市の100周年に向けた新たなステップを力強く踏み出し、まちづくりを盛り上げる契機とするため、市制施行50周年記念事業を実施します。

3 基本方針

基本理念を踏まえ、次の基本方針に基づいて、知多市らしい、心に残る記念事業を実施します。

(1) ふるさと知多への愛着と誇りを醸成します。

本市では、コミュニティ活動や市民活動が活発に行われ、市民が主役のまちづくりを進めています。人と人とのつながりを大切にし、ふるさと「知多市」への愛着と誇りを醸成することで、市民のまちづくりへの参画を進めます。

(2) 先人たちが築いた大切な伝統、財産を継承します。

本市には、先人たちが築いてきた歴史や伝統が息づいています。また、自然に恵まれ、身近に緑を感じながら豊かな暮らしを送ることができます。こうした先人たちが築き上げた伝統や財産を未来に継承します。

(3) 未来を担う子どもたちの夢を育みます。

未来を担う子どもたちの心に残る事業を実施することで郷土への愛着を育むとともに、子どもたちの将来への夢を育み、応援します。

(4) 本市の魅力を積極的に情報発信します。

本市は、産業と自然が調和した暮らしやすい緑園都市であるとともに、すばらしい歴史や伝統、観光資源にも恵まれています。こうした本市の魅力を市内外に積極的に情報発信することで、本市のファンを増やします。

4 事業期間

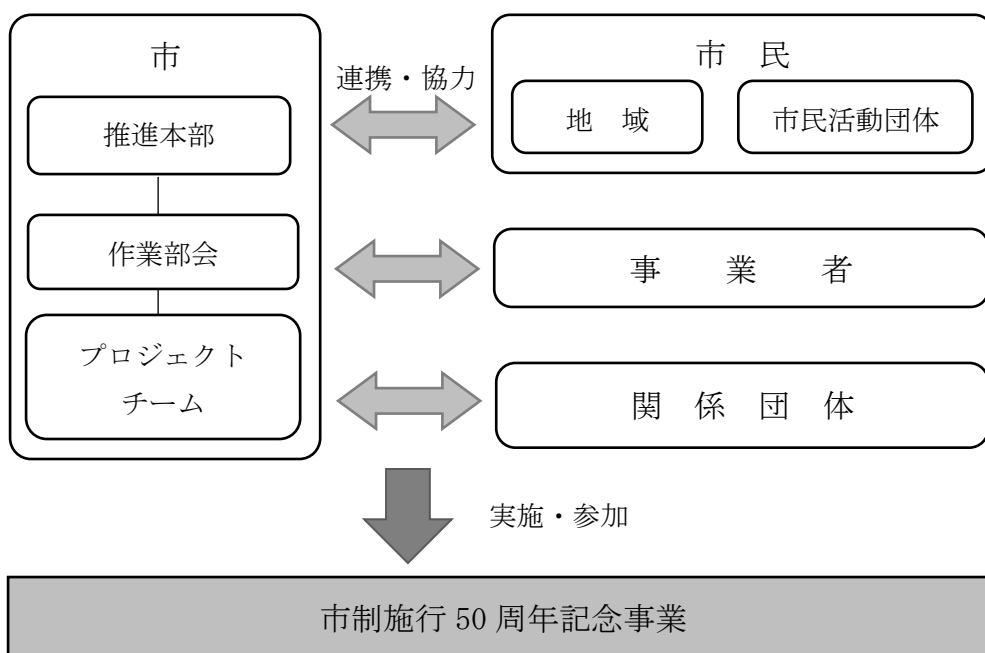
市制施行50周年を迎える平成32年度の一年間を事業期間とします。

【市制施行50周年記念事業期間】

平成32年4月1日から平成33年3月31日まで（平成32年度）

一年前となる平成31年度には、50周年への機運を高めるためのプレ事業を実施します。

5 実施体制



6 事業構成

(1) 記念式典

市制施行50周年を記念する中心的な行事として、記念式典を挙ります。
式典と併せて表彰、アトラクション等を実施します。

開催日：平成32年9月6日（日）

会 場：知多市勤労文化会館

(2) 記念事業

ア 特別事業

(ア) シンボル事業

市が中心となって50周年を象徴し、心に残る特別な事業を実施します。

(イ) にぎわい事業

市が中心となって実施する既存事業を拡充することで、50周年を契機にさらなるにぎわいを創出し、活性化を図ります。

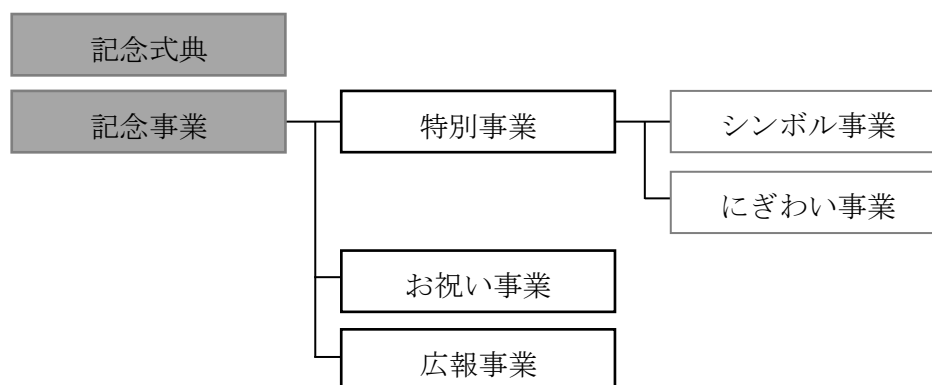
イ お祝い事業

市民、事業者、関係団体が自主事業に「市制施行50周年記念」の冠を掲げ、市と連携し、市全体で50周年を祝います。

ウ 広報事業

50周年を広くPRすることで、市全体で50周年を祝う機運を高めます。

【構成図】



7 事業内容

この基本構想をもとに、平成31年度に具体的な事業内容を盛り込んだ実施計画を策定し、計画的に事業を実施していきます。

現時点で予定しているプレ事業については、次のとおりです。

プレ事業（平成31年度）

No.	事業名
1	新舞子ビーチフェスティバル ミュージック花火
2	プレイベント
3	記念ロゴマーク作成
4	50周年記念事業PR・啓発
5	市勢要覧作成
6	記念映像制作

参考

【これまでの主な周年記念事業】

周年	主な事業
10周年（昭和55年）	タイムカプセル埋設
20周年（平成2年）	市民まつり ビバちたカーニバル'90
	知多市イメージソング「SO YOU CAN」作成
	特別展示「ふるさとの祭 山車・屋形・御馬頭」
30周年（平成12年）	第1回みんながみんなでクリーンキャンペーン
	市制施行30周年記念ロードレース大会
40周年（平成22年）	NHKのだ自慢（NHK全国放送公開番組収録）
	おいじゃあ知多フェスタ野外コンサート （知多市出身ミュージシャン出演 redballoonなど）
	特別企画展「出光美術館コレクション 陶磁の東西交流」 展&ミュージック・イン・ミュージアム
	こども芸能まつり
	岡田街並フェスティバル
	生物多様性フォーラム（COP10に合わせ開催）
	中部日本都市対抗軟式野球大会
45周年（平成27年）	新・BS日本のうた（NHK全国放送公開番組収録）
	市の花に「梅」を追加
	知多市子ども議会
	歴史民俗博物館において、愛知県美術館・愛知県陶磁美術館の移動美術館「えものがたり、やきものがたり」開催



知多市制施行50周年記念事業基本構想

平成31年3月策定

知多市企画部企画情報課

〒478-8601 知多市緑町1番地

電話 0562-36-2639 (直通) F A X 0562-32-1010

URL <http://www.city.chita.lg.jp>

E-mail kikaku@city.chita.lg.jp